



こんにちは！ 水道局です

平成30年7月発行 ～市民生活を未来まで支える上下水道～

鹿児島市水道局

〒890-8585 鹿児島市鴨池新町1番10号

TEL 099-257-7111

FAX 099-252-6728

ホームページアドレス

http://www.city.kagoshima.lg.jp/suidou/index.html

鹿児島市水道局

検索

中期財政計画(平成30～32年度)を策定しました！

中期財政計画は、今後3年間(平成30～32年度)の事業の内容と、収入・支出の予定額をまとめたものです。この計画に基づき、効率的かつ計画的な事業運営を行い、引き続き健全な経営に取り組みます。

○事業計画

安全で良質な水の安定供給 【水道】【工業用水道】

- ◆施設能力適正化の取組(ダウンサイジング)
水の需要が減っていることから、水源地、配水池などを統廃合し、施設の整備費や維持管理費を抑えます。
- ◆管路施設の長寿命化
水道管路施設がどの程度古くなっているのかなどを調べ、できる限り長く使えるように維持管理を行います。
- ◆水道管路改良事業
古くなった配水管を新しい管に入れ替え耐震化を図るとともに、管理上支障となる配水管を移し替える工事などを行います。
- ◆地下漏水調査・公道地下漏水修繕
地上に表れない漏水の調査を行い、発見した場合は速やかに修理します。
- ◆水道事業100周年記念事業
平成31年11月の水道事業100周年にあわせ、記念式典の開催や記念誌の発行を行います。

環境にやさしい上下水道 【水道】【公共下水道】

- ◆省エネルギー技術導入事業
効率が高い設備などの省エネルギー機器を積極的に取り入れ、環境への負担や維持管理費を減らします。
- ◆下水汚泥堆肥化事業
下水処理場から発生する下水汚泥を、全て堆肥にすることで、資源として有効利用します。



下水汚泥堆肥化場

良好な水環境と快適な生活環境の確保 【公共下水道】

- ◆処理場の統廃合
南部処理場と谷山処理場の2処理場への統合に向けて錦江処理場を廃止するため、谷山幹線を整備します。
- ◆管路施設の長寿命化
管路施設の適切な維持管理や、計画的な改築を行い、長寿命化を図ります。
- ◆下水道施設ストックマネジメント事業
施設を長く使えるようにしたり、運用に必要な経費を抑えるため、施設全体を一体として考えた計画をつくり、改築を行います。
- ◆汚水管路施設改良事業
汚水管が壊れ、管がふさがったり道路が陥没することなどを未然に防ぐため、ひびが入ったり、傷んでいたりする管路施設を計画的に改築します。



南部処理場

谷山処理場

お客様の視点に立った質の高い サービスの提供 【共通】

- ◆「お客様料金センター」の設置
「お客様料金センター」を設置し、窓口業務の一本化、営業時間の拡大により、お客様サービスの向上に努めます。
- ◆水道モニター事業
施設見学会や意見交換会などを行い、お客様の声を事業の運営に反映させて、サービスの向上を図ります。



水道モニター施設見学会の様子(福昌寺水源地)

災害など危機に備える上下水道 【水道】【公共下水道】

- ◆水道施設・水道管路の耐震化
地震などの災害が起きた際に、生活に必要な水を確保するため、重要な水道施設の耐震診断を行い耐震化を進めるとともに、主要な水道管や救急病院までの水道管等を耐震化します。
- ◆処理施設・汚水管路の耐震化
耐震性の低い錦江処理場を廃止するため、谷山幹線を整備し、また、災害が起きたときに汚水管路が使えなくならないように、老朽化対策と耐震化を行います。また、南部処理場、南部幹線についても耐震診断を行います。
- ◆応急給水拠点の再編・整備
災害のときに、より身近な場所で、より早く飲料水をお配りできるよう、応急給水拠点の見直しをしています。



管更正工法による汚水管の耐震化



応急給水拠点での応急給水の様子

経営基盤の強化 【共通】

- ◆資金の確保
施設が古くなり、建て替えや整備が必要になっていくことから、そのために必要な多額の資金を確保するため、利益の一部を積み立てて備えます。
- ◆企業債残高の縮減
将来の経営負担を軽くするため、借入を少なくするなど、これまでの借入金の残高を減らすよう努めます。

○財政計画

※四捨五入のため、各表の計が異なることがあります。

水道事業

(業務量の予測)

項目	単位	30年度計画	31年度計画	32年度計画
給水人口	万人	57.7	57.6	57.5
給水件数	万件	30.8	31.0	31.2
年間総給水量	万m ³	6,457.0	6,444.5	6,421.1
年間総有収水量	万m ³	5,946.9	5,933.5	5,915.1

○有収水量とは、水道料金や下水道使用料の徴収の対象となる水量のことをいいます。一人当たりの使用水量の減少に伴い、年間総給水量や年間総処理水量、年間総有収水量は減少すると見込んでいます。

水を作り、家庭などに送ることで得られる収入と
そのための支出=収益的収支(億円:税込)

項目	30年度計画	31年度計画	32年度計画
収益的収入	122.3	122.2	121.7
水道料金(営業収益)	113.2	113.1	112.7
営業外収益	9.1	9.1	9.0
収益的支出	105.7	107.9	103.7
水をつくり、家庭などに送る費用など(営業費用)	95.4	98.6	94.7
施設の整備のために借りた資金の利子など(営業外費用)	10.1	9.1	8.8
その他	0.1	0.1	0.1
消費税調整額	3.4	3.8	3.8
純利益(税抜)	13.2	10.5	14.2

水道施設を整備改良するための収入と支出
=資本的収支(億円:税込)

項目	30年度計画	31年度計画	32年度計画
施設の整備のために借りる資金や補助金など(資本的収入) A	23.7	21.9	21.1
内部留保資金 B	54.7	57.3	57.7
A + B	78.4	79.2	78.8
資本的支出	78.4	79.2	78.8
浄水場や配水管など施設の整備費用(建設改良費)	53.9	54.4	52.2
施設の整備のために借りた資金の返済(企業債償還金)	24.2	24.6	26.4
その他	0.2	0.2	0.2

公共下水道事業

(業務量の予測)

項目	単位	30年度計画	31年度計画	32年度計画
処理人口	万人	46.5	46.5	46.5
処理件数	万件	25.4	25.6	25.9
年間総処理水量	万m ³	6,189.8	6,177.6	6,156.0
年間総有収水量	万m ³	5,546.1	5,534.7	5,516.8

家庭などから集めた汚水をきれいにすることで得られる
収入とそのための支出=収益的収支(億円:税込)

項目	30年度計画	31年度計画	32年度計画
収益的収入	86.1	85.8	84.7
下水道使用料(営業収益)	64.6	64.4	64.1
営業外収益	21.6	21.4	20.7
収益的支出	80.8	81.0	77.2
汚水を集め、きれいにする費用など(営業費用)	74.3	74.6	70.9
施設の整備のために借りた資金の利子など(営業外費用)	6.4	6.3	6.2
その他	0.1	0.1	0.1
消費税調整額	1.5	1.4	1.2
純利益(税抜)	3.8	3.4	6.3

下水道施設を整備改良するための収入と支出
=資本的収支(億円:税込)

項目	30年度計画	31年度計画	32年度計画
施設の整備のために借りる資金や補助金など(資本的収入) A	23.5	23.5	23.4
内部留保資金 B	24.4	23.0	22.4
A + B	47.9	46.5	45.8
資本的支出	47.9	46.5	45.8
処理場や汚水管など施設の整備費用(建設改良費)	31.8	29.3	28.2
施設の整備のために借りた資金の返済(企業債償還金)	15.9	16.5	17.4
その他	0.2	0.8	0.2

☆水道局では「工業用水道事業」も運営しています。水道・公共下水道・工業用水道事業の中期財政計画については、水道局のホームページでも公表しています。【経営管理課 TEL:213-8506】